

2024年度 第3四半期  
決算補足説明資料



2025年2月13日  
三愛オブリ株式会社（証券コード：8097）

# 本資料に関する注意事項

---

本資料は、三愛オブリ株式会社（以下、「当社」）が、2025年2月13日に発表した「2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の補足説明資料です。本資料に記載されている情報は、発表日現在の当社が入手している情報に基づいて作成されたものであり、将来の業績を保証するものではありません。

本資料には、当社の経営計画、将来の業績見通しなど、将来の事項に関する記述が含まれています。これらの記述は現時点における当社の判断に基づいて作成しており、実際の業績はさまざまなリスクや不確実性を伴うため、これらの記述とは大きく異なる可能性があります。

また、当社は、本資料に記載された情報に基づいておこなわれたいかなる投資行為についても責任を負いません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断においておこなうようお願い申し上げます。

## 【本資料における表記について】

- 本資料の数値について、経営成績は原則として百万円単位で記載しております。
- 4月から始まる会計年度の表記としており、2025年3月期（2024年4月から2025年3月まで）の会計期間は「2024年度」または「FY2024」と表記しております。

# 目次

---

1. 2024年度 第3四半期 決算概要
2. 業績予想と株主還元

# 1. 2024年度 第3四半期 決算概要

# 決算のポイント

## 2024年度 第3四半期 経営成績

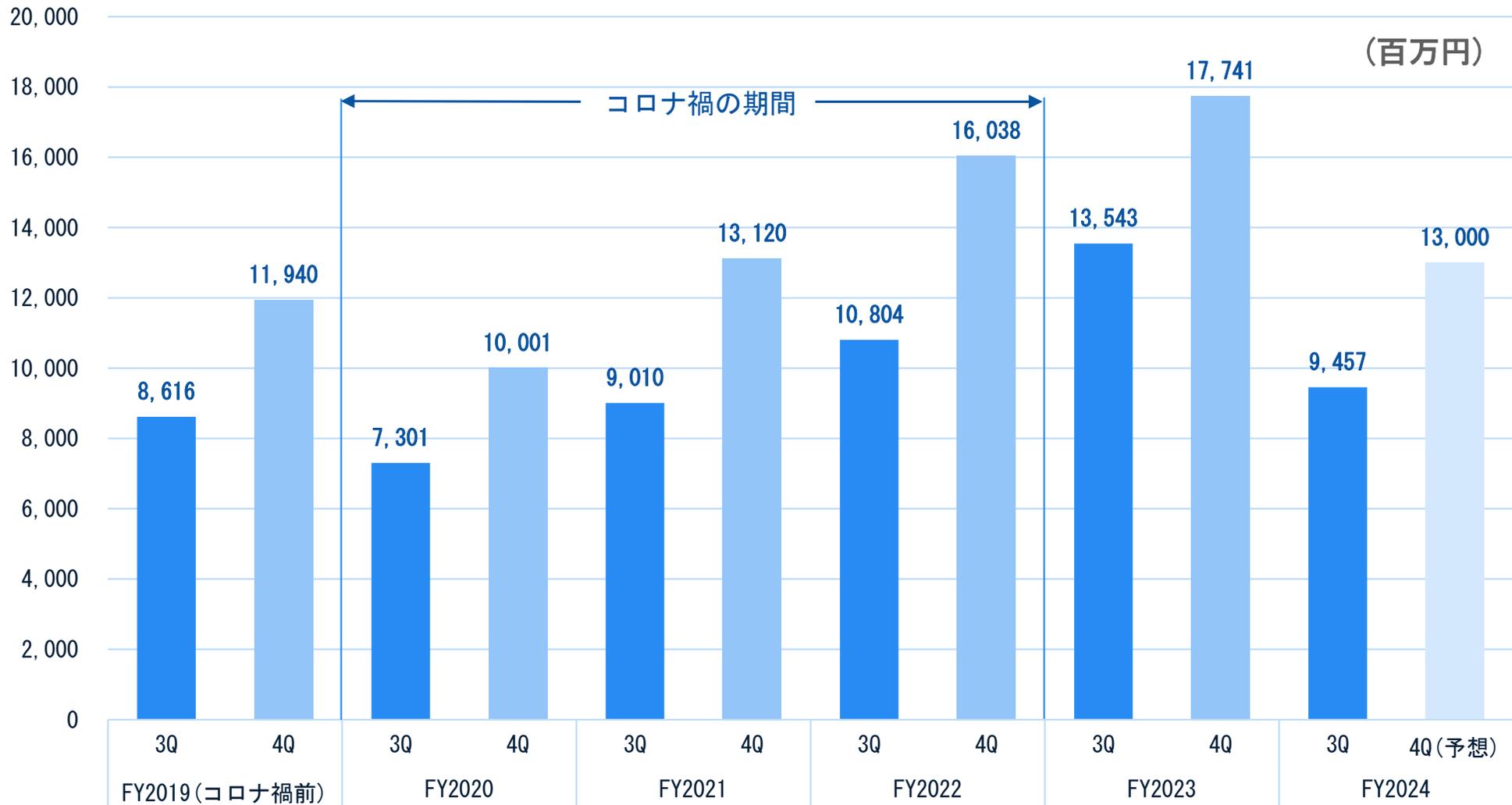
(百万円)

	FY2023 3Q	FY2024 3Q	前年同期比	(参考) FY2024予想	進捗率
売上高	485,683	474,825	-2.2%	650,000	73.1%
営業利益	12,790	8,599	-32.8%	12,500	68.8%
経常利益	13,543	9,457	-30.2%	13,000	72.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	8,374	6,562	-21.6%	9,500	69.1%

- 航空関連事業が羽田空港における燃料取扱手数料の単価改定により減益
- 石油・ガス関連事業は、売上総利益が増加した一方、販売費及び一般管理費が増加
- 投資有価証券の売却に伴い、特別利益として売却益2,920百万円を計上
- LPガス販売会社、三愛オブリガス播州(株) (本社：兵庫県高砂市) において、供給先となる集合住宅の離脱による収益性悪化が見込まれるため、特別損失 (のれんを含む固定資産の減損損失) 1,283百万円を計上

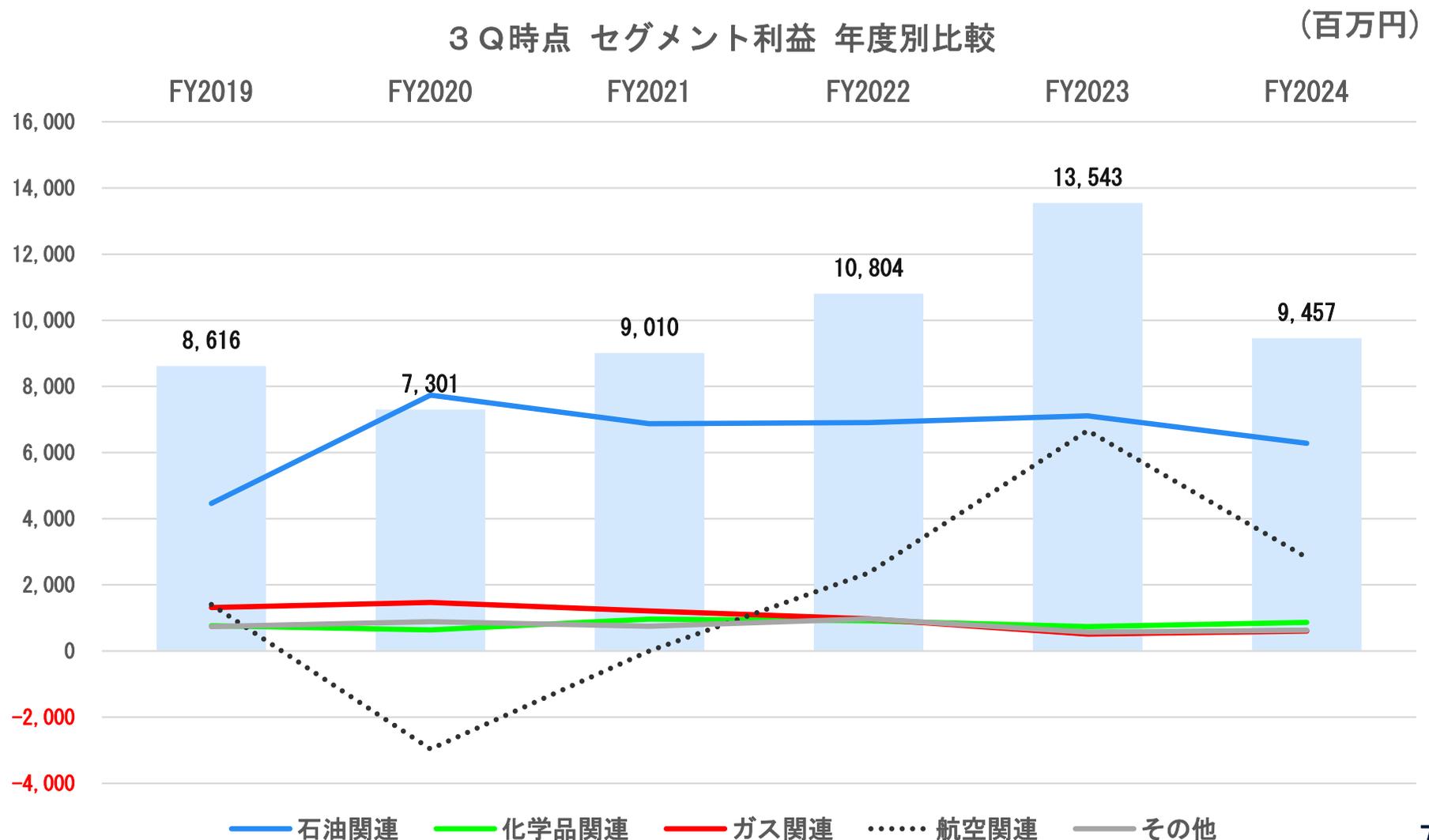
# 経常利益の推移

2024年度の経常利益は羽田空港における燃料取扱手数料の単価改定によって、前期比で大きく減益となったものの、コロナ禍前の水準を上回る見込み。

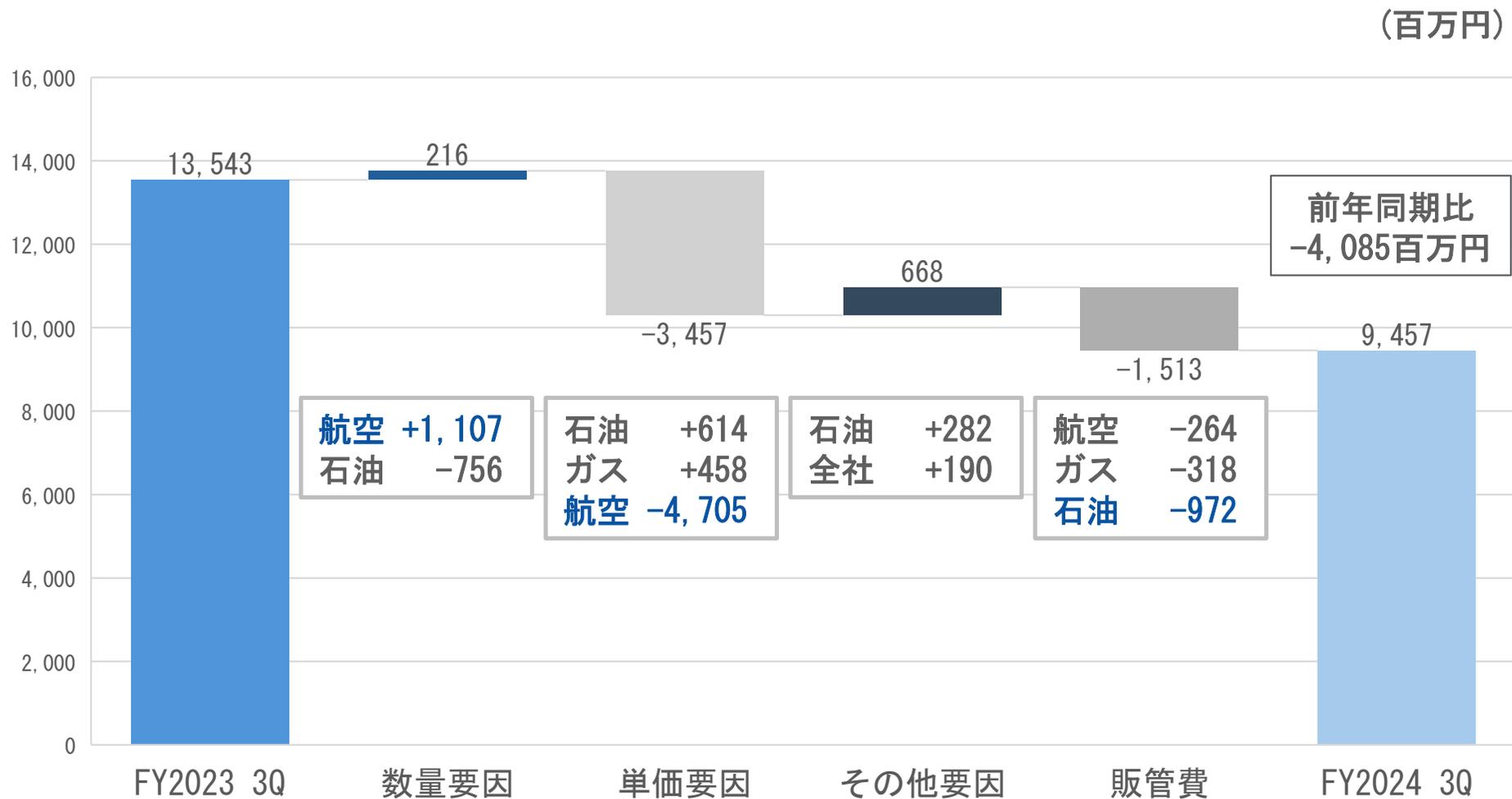


# セグメント別 経常利益の推移

2024年度は航空関連事業の減益が連結の業績に大きく影響を及ぼしている。  
一方、それ以外の事業の業績については底堅く推移している。

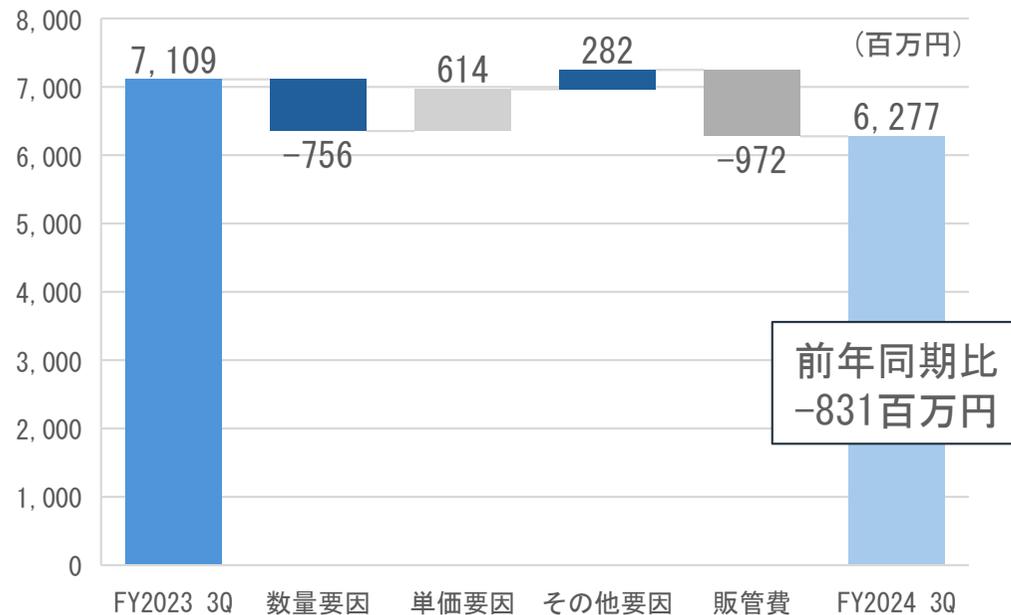


# 経常利益 前年同期比増減内訳



- 在庫による損益影響は単価要因に含まれる。
- その他要因には航空燃料取扱手数料を除く手数料収入および完成工事高の増減、営業外損益が含まれている。

# 石油関連事業 経常利益



特約店への卸売や工場向け等の産業用燃料油・潤滑油の販売、SS(サービスステーション)での小売販売を通して全国に石油製品を供給している。

2024年12月31日現在 系列SS 978ヶ所



小売部門 1,336百万円

数量 直営SSの販売が減少 (-)

単価 利幅縮小 (-)

卸売部門 4,805百万円

単価 利幅改善により増益 (+)

産業用燃料油販売部門 108百万円

数量 価格競争の激化により減少 (-)

産業用潤滑油販売部門 26百万円

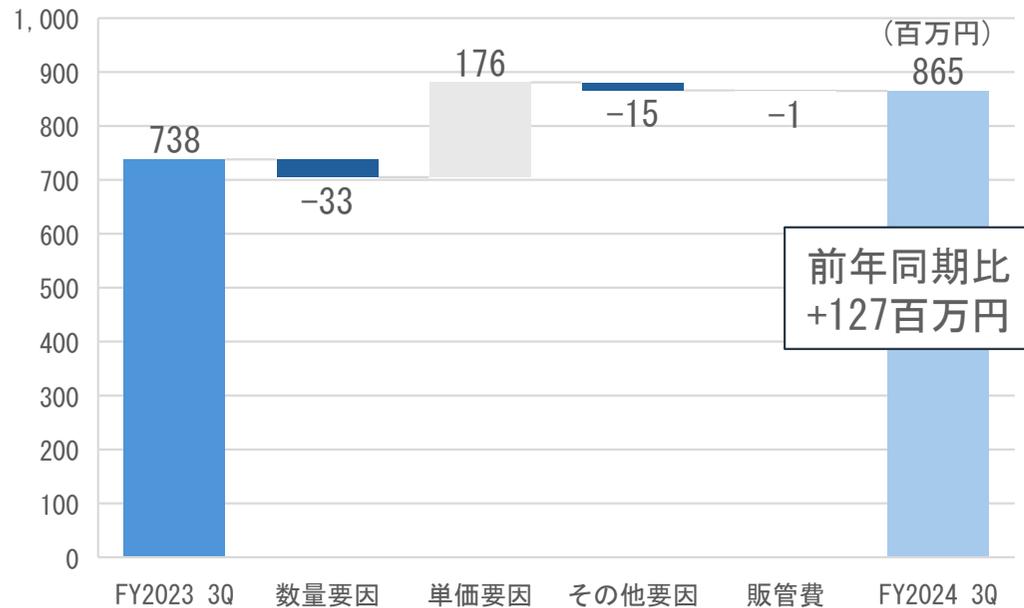
その他 メンテナンス収入が増加 (+)

販管費 風力発電所開発調査の中断に伴う貸倒引当金繰入額計上 (-)

販売費及び一般管理費

人件費・荷造運送費等が増加 (-)

# 化学品関連事業 経常利益



自社製品として防腐・防かび剤、自動車用ケミカル商品等の製造販売をおこなっている。また、石油系溶剤、粘着付与剤等の卸売販売をおこなっている。



自動車用ケミカル商品 16.4%

数量 洗車薬剤の販売減少(-)

単価 利幅回復(+)

防腐・防かび剤 32.1%

数量 前年同期並み

石油系溶剤 30.3%

単価 利幅回復(+)

粘着付与剤 13.5%

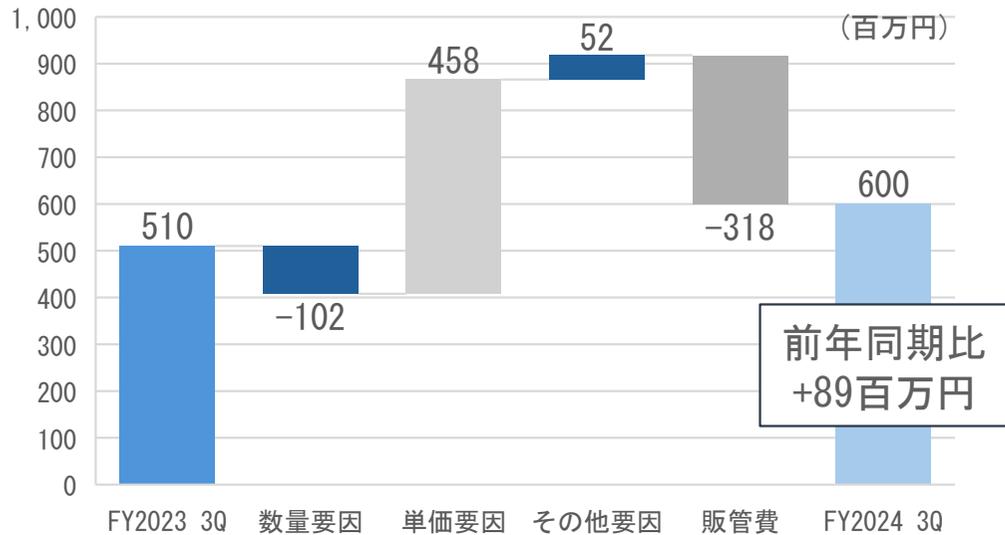
数量 販売数量が増加(+)

その他（機能化学品他） 7.6%

数量 高級アルコールの販売が増加(+)

※ 化学品関連事業のみ商品別の説明となっているため、商品区分の横には粗利の割合を表示している。

# ガス関連事業 経常利益

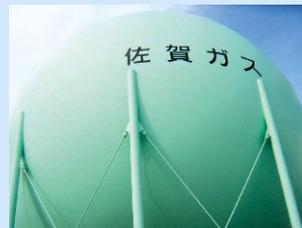


## <LPガス販売業>

関東・東海エリア、中国・近畿エリア、九州エリアを中心に家庭用、業務用LPガスの販売およびリフォーム・ガス器具販売等を展開している。2024年12月31日現在 小売顧客軒数122千軒

## <天然ガス販売業>

佐賀天然ガスパイプライン等を利用した工場等への供給、佐賀県における一般消費者への都市ガスの供給などをおこなっている。



## <LPガス販売業>

398百万円

### 小売部門

**数量** 気温上昇により単位消費量減少(-)

**単価** 小売営業権の買収で利益面はカバー(+)

### 卸売部門

**数量** 気温上昇により単位消費量減少(-)

**単価** 在庫評価により利幅回復(+)

## <天然ガス販売業>

202百万円

### 家庭用

**数量** 気温上昇により単位消費量減少(-)

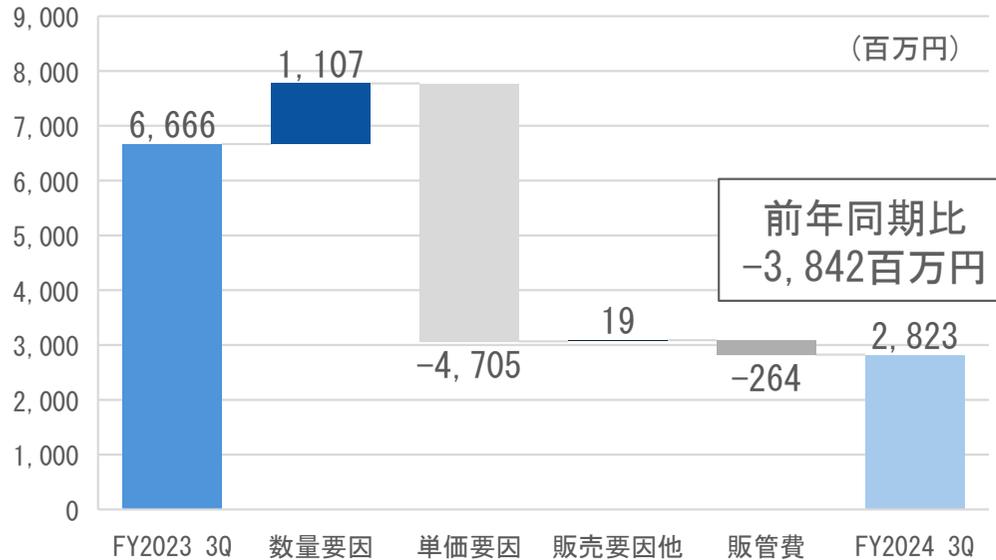
### 業務用・工業用

**数量** 工場における需要は微減(-)

## <販売費及び一般管理費>

人件費が増加(-)

# 航空関連事業 経常利益



羽田空港での航空機給油施設の運営および給油業務のほか、北海道から沖縄まで全国27ヶ所で給油業務や給油施設の管理等をおこなっている。



## 羽田空港

2,292百万円

### 数量

国内線は10月以降、需要回復(+)  
国際線は訪日外国人の増加による新規就航や増便により好調(+)

### 単価

航空燃料取扱手数料の改定により大きく減益(-)

## その他空港 (25空港、1ヘリポート)

530百万円

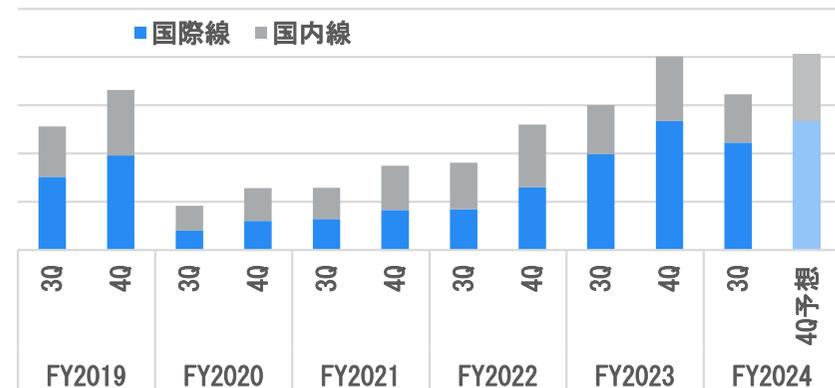
### 数量

給油数量が好調に推移(+)

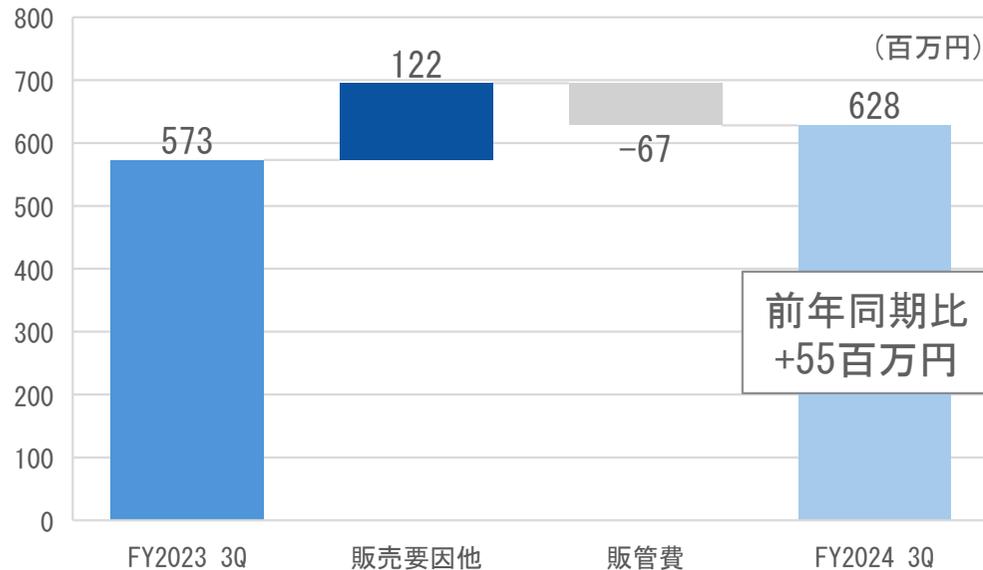
## 販売費及び一般管理費

人件費が増加(-)

### 羽田空港 航空燃料搬出数量推移



# その他事業 経常利益



金属製品等の洗浄・表面処理業、建設工事業等をおこなっている。近年は半導体製造装置の部品洗浄が収益割合が大きくなっている。



金属製品等の洗浄・表面処理業 407百万円

販売他 半導体製造装置の生産に回復の兆し(+)

建設工事業 181百万円

販売他 受注減少により減益(-)

不動産賃貸・ソーラー事業 40百万円

2024年11月から日英の同時開示を実施し、2025年2月英文ウェブサイトのリニューアルを行うなど、海外投資家に向けたIR情報の充実に努めております。

<https://www.san-ai-obbli.com/en/ir/>



# 貸借対照表

2023年度末

有利子負債, 4,473	
現金及び預金, 53,671	その他負債, 90,305
その他流動資産, 54,948	
固定資産, 59,609	純資産, 123,829 (自己資本比率53.9%)
投資その他の資産, 50,377	

2024年度 第3四半期末

(百万円)

有利子負債, 4,420	
現金及び預金, 38,142 (-15,528)	その他負債, 86,624 (支払手形及び買掛金 -3,599)
その他流動資産, 59,902	
固定資産, 59,396	純資産, 118,899 (自己資本比率53.6%)
投資その他の資産, 52,503 (差入保証金 +5,971) (投資有価証券-3,933)	(当期純利益 +6,562) (期末・中間配当 -6,381) (自己株式 -3,949) (その他有価証券評価差額金 -1,584)

【主な差異要因】

- 現金及び預金・差入保証金 . . . . . 前期末買掛金の支払い、現金担保の追加
- 自己株式 . . . . . 取締役会決議により自己株式199.6万株取得
- 投資有価証券・その他有価証券評価差額金 . . . . . 投資有価証券の売却

# キャッシュ・アロケーションの状況

2024年度 第3四半期末

(百万円)

資金調達		(構成比)	資金活用		(構成比)
営業に伴う キャッシュ創出 (運転資金を除く)	12,447	(37.7%)	設備・事業投資	6,176	(18.7%)
資産売却等	5,067	(15.3%)	配当金支払	6,381	株主還元 10,342 (31.3%)
			自己株式取得	3,961	
手元資金の活用	15,548	(47.0%)	運転資金の減少	5,090	(15.4%)
			営業保証金	5,896	(17.8%)
			法人税等支払	4,737	(14.3%)
			その他資金活用	821	(2.5%)

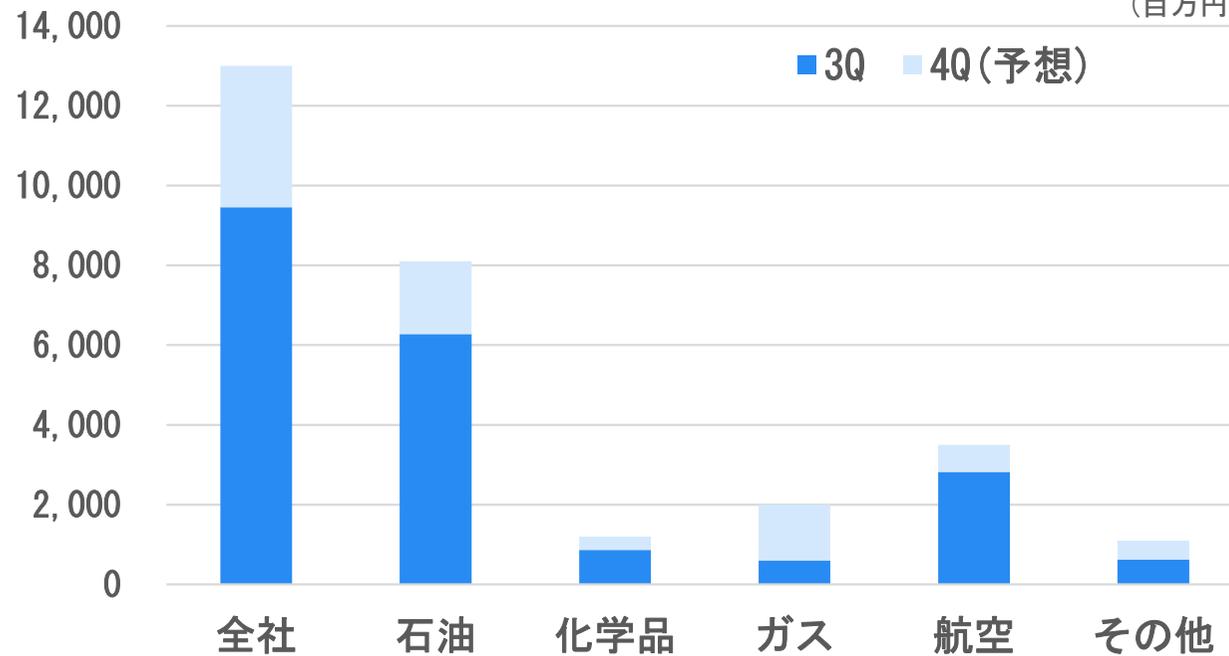
- 株主還元として、前期末配当および中間配当として6,381百万円、2024年5月および11月取締役会決議の自己株式取得3,961百万円を実施している。
- 営業保証金は取引金額の増加に伴い、仕入先への担保を追加で差し入れている。
- 資産売却等は、主に投資有価証券売却が含まれている。

## 2. 業績予想と株主還元

# 業績の進捗と今後の見通し

全社・セグメント別 経常利益の進捗

(百万円)



(進捗率) (72.7%) (77.5%) (72.1%) (30.0%) (80.7%) (57.1%)

中期経営計画  
2024-2026年度 目標

経常利益

130~150億円

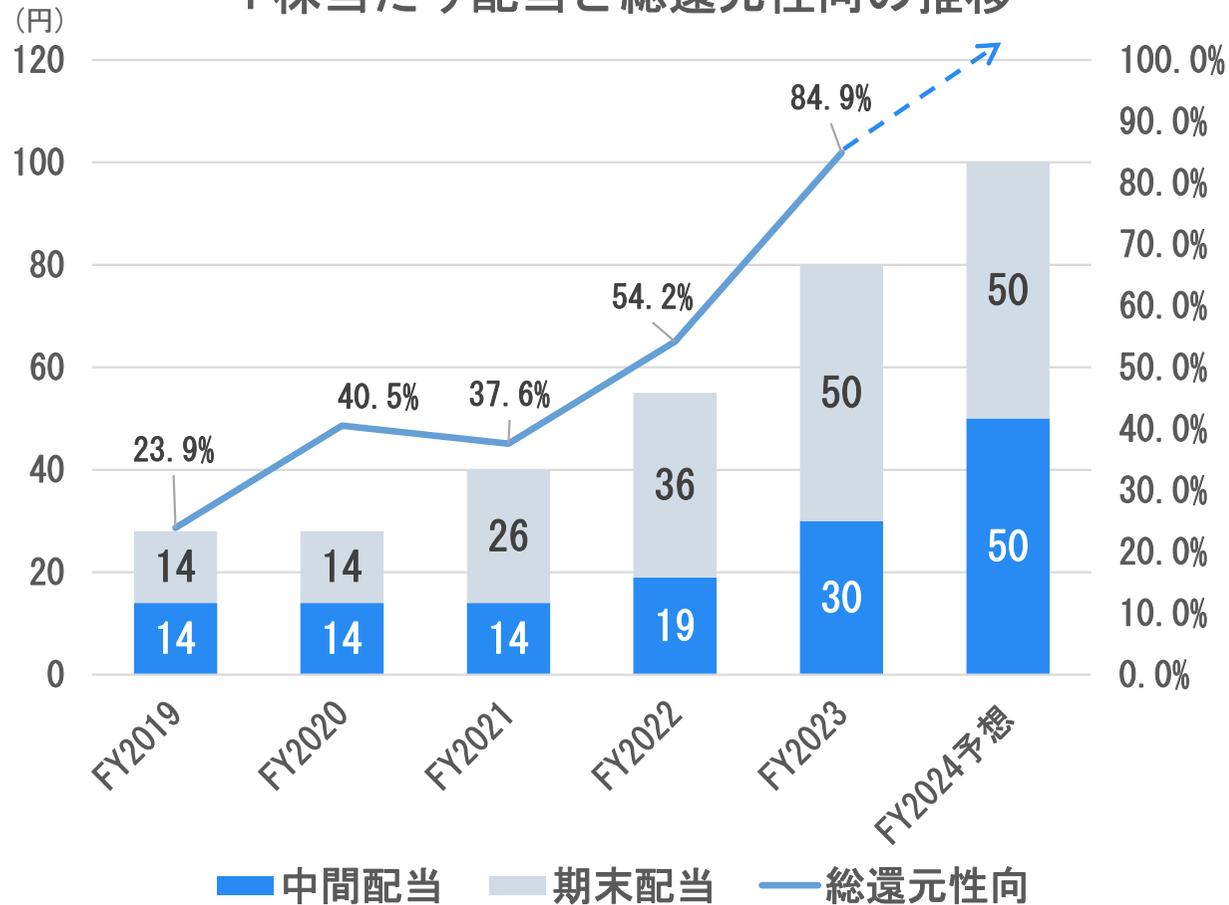
連結ROE

8%以上

- 石油関連事業は小売部門の販売が伸び悩み。卸売部門の利幅改善でリカバリー
- 化学品・航空関連事業は業績予想通り進捗
- ガス関連事業は単位消費量の減少などにより、3Q時点で計画対比90%程度の進捗。4Q(1-3月)の需要期における利益確保に努める
- その他事業の金属製品等の洗浄・表面処理業は半導体製造装置の需要が回復傾向

# 株主還元の様況

## 1株当たり配当と総還元性向の推移



中期経営計画  
2024-2026年度 目標

1株当たり年間配当  
**100円**を下限とする

総還元性向  
**100%**を目指す

2024年度親会社株主に帰属する当期純利益予想に対する総還元性向は約108%となる見込み。